

# 生光学園中2チーム 優秀賞

## 探究教育の成果競う全国審査

「クエスト(探究)教育」に取り組み全国の児童・生徒が成果を競う「クエストカップ2021」(実行委など主催)で、徳島市心神町の生光学園中学校の2チームがそれぞれ優秀賞を受賞した。

### 資料の完成度評価

クエストは、正解のない問題を考え抜くことを通じ、社会で生きる力を育む教育方法。大会は2月20日にオンラインであり、生光学園中が参加したコーポレート・アクセス(CA)部門は、企業が提示する課題に沿って解決策を考える。2チームの計5人が発表した。大正製薬の課題「人の『元気の源』を生み出す新商品」に挑んだ天田芹奈さん、山村脩造さん(以上2年)、石川紗妃さん(1年)のチームは、握るだけで血糖値や心拍数などを計測できるおもちゃ「スクイーズ」を提案。スマートフォンの運動して健康管理を行い、危険値に達すると近くの病院を紹介する機能を備えるとした。

大和ハウス工業の「人々の『生きるを面白く』」を選んだ森垣行人さん、新見湊太さんの2年生チームは、新築工事の契約者がプラスチックごみを集め、同社のリサイクル処理工程で建材として再生するアイデアをまとめた。環境問題の解決が「生きるを面白く」につながるとした。

両チームとも、パワーポイント(発表資料作成ソフト)の原稿の完成度が高く評価された。5人は「自分たちの提案を全国の舞台で発表できてうれしい」と話した。

CA部門には24都府県の2590チームが応募。協賛企業12社がそれぞれ優秀賞10チームを選んだ。

(青木忍)

